

2010年度 活動総括

1. 安心して子どもを産み育てられるまちづくりを目指す取り組み

<新さかえ保育園舎での保育がスタート>

老朽化と子育て支援センター新設にともなって建て替え工事が進んでいたさかえ保育園の新園舎が完成し、新たな環境での保育がスタートしました。建て替えにあたっては、市との連絡調整等においてさかえ保育園父母会のご尽力ありがとうございました。父母連としても新園舎での保育の様子を見学しましたが、広い廊下や、バリアフリーの施設となっており、子どもたちも喜んでいきます。このような素晴らしい施設の整備は、市の保育施策の大きな前進です。一方で、実際に使い始めてみると「こうあってほしい」「早く園庭を整備してほしい」といった点も浮かび上がってきているようです。せっかくの広い園庭は未だ工事が完了しておらず、外遊びができない子どもたちのエネルギーの行き場がありません。また市の計画している別棟での0歳児保育は、完全に園舎と切り離されているために、園児や先生の行き来や給食の配膳等に難しさがあり、未だ実施されていません。やはり実際に使ってみた現場の視点の大切さを痛感します。今後も保育園の建て替えが進んでいくと思われます。これからも私たち保護者の声や現場の保育士の意見に耳を傾けていただき、またこれまでの建て替え工事においてあげられた改良点を考慮した園舎建て替え、保育園の新設をお願いしていきたいと思っております。

<草加市議会議員選挙・草加市長選挙にともなう候補者へのアンケート実施>

2010年度は草加市議会議員選挙と草加市長選挙が行われました。草加市の保育園に子どもを預ける私たち保護者にとって、子育ての未来を決める大きな選挙となりました。これらの選挙をむかえるにあたり、父母連では各候補者に子育て行政・保育行政に関するアンケートを実施し、私たちのねがいにどう応えていただけるのかをお聞きしました。その結果、みなさんからとても誠意ある回答をいただくことができ、それぞれの候補者が草加の子どもたちをどのように育てようとしているのかを知ることができました。今後も待機児への対策や、草加の保育園が培ってきた素晴らしい実践の維持・向上、自園直営方式の給食の維持と完全給食の早期実現等について、議会や市長との対話をすすめていけるよう、引き続き運動していこうと思っております。

<待機児対策として緊急に予算化された私立認可保育園4園と1分園新設への動き>

2010年5月の市主催の保育事業説明会において、表題の通り私立認可保育園4園と1分園の2011年4月スタート、2012年4月には新たに2園がスタートする旨が説明されました。これらが新設されるとおよそ480人の定員増となり、これまで爆発的に増える待機児のために保育園で実施されていた定員の弾力化の解消と一定程度の待機児解消が見込まれるとの内容でした。私たち保護者としては大変喜ばしいことであり、待機児解消に向けた市のがんばりの成果だという思いを新たにしました。

しかし歓迎すべき新設ですが、一方でこれまで草加市が培ってきた高い保育実践を今後も維持・向上できるのだろうかといった意見が聞こえてきます。また私立認可保育園で始まった多彩なサービスはこれまでの公立保育園では行われなかったものも多く（最大夜8時までの延長保育、文具や布団の用意を園側で行う、完全給食の実施等）、同じ認可保育園でありながら差異が生じている状況に戸惑いを隠せない保護者も多いのが実際です。2011年4月スタートなのでまだ具体的なケースは上がってきていませんが、今後もこうした声はさらに高まっていくことが予想されます。質の高い草加の保育実践はぜひ職員の実践交流を通してさらに充実させていただきながら、私立・公立がそれぞれ刺激し合い高め合えるような関係づくりを市にもお願いしていく必要があります。

さらに現在は休止状態となっている「草加市における0歳児保育施設の整備方針」についても引き続き高い関心をもって見守っていきたくと思っています。市側の説明では、以前の「計画」に比べてより柔軟な対応が可能な「方針」として策定されていることで、待機児の増減に対応できるよ

う配慮できることですので、家庭保育室の先生方の意見を十分に取り入れてほしいと思います。

2. わかりやすく、やりがいのある父母会・父母連づくりへの取り組み

＜父母連ニュースの発行＞

各保育園の保護者の皆さんに、父母連としての活動や各園での取り組みについてわかり易くお伝えするために、毎年事務局からは「父母連ニュース」を発行しています。

2010年度は、計8回発行(4/1・6/12・7/10・9/11・10/16・12/4・1/8・2/19)し、「入園・進級おめでとう号」／『第25回父母連総会報告／2010年草加市保育事業説明会の報告／2010父母連アンケートのお願い／2010年度草加市議会議員選挙候補者アンケート結果について／2010父母連アンケート集計結果報告／育成保育保護者会報告／第47回草加母親大会報告／2010市長選挙アンケート結果について／市長懇談会報告／第19回草加子育てのつどい報告／第11回草加子育て団体交流会報告父母連役員告示、等々についてお伝えしてまいりました。よりわかり易いニュース作りをめざし、2011年度も取り組んでいきたいと思ひます。ご意見等ございましたら、各父母会役員もしくは父母連メール info@soka-fuboren.org までお願いいたします。

＜会長会・代表者会の開催／各父母会分担体制により皆で支え合う父母連活動＞

2010年度は年3回の会長会(6・9・1月)そして年9回の代表者会(5・6・7・9・11・12・1・2・4月 ※10月は各園運動会が雨天順延となり中止、3月は震災の影響で中止)を開催してきました。会長会では各園の状況や父母会運営についての情報交換などが行われました。代表者会では、①父母連事務局から各園への様々な事務伝達や報告 ②父母連活動方針や内容の検討 ③各園からの報告 ④保育情勢などに関する学習 などを行いました。各園の会長や代表者の皆さん、ご協力ありがとうございました。今年度の会議を通して出されましたご意見・反省点は、是非2011年度に生かしていきたいと思ひます。

また、専従のいない父母連活動を皆で支えて行こう!との確認のもと、2010年度は、2009年度に引き続き「父母連活動分担年間予定表」にもとづいて、印刷作業などの父母連事務局の仕事を各父母会と分担し合いながら活動を行ってきました。お陰様で、事務局の負担も軽減されました。ご協力ありがとうございました。

＜父母連アンケート(6月)の実施や市長懇談会(2/7)への取り組み＞

父母連の活動は、各園の保護者の皆さん一人ひとりの声が集まって初めて可能となるものです。そのためにも各園の声を会長会や代表者会で直接情報交換し合うと共に、年に1回、1700全世帯に父母連要求アンケートを行い、一人ひとりの声を市への要望書や保育改善運動に反映させるための大変重要な取り組みを行っています。その集計結果は父母連ニュースにてご報告したり、集計結果を冊子にして各園にお配りしたりしておりますので、皆さんで回覧されたことと思ひます。

2010年度も父母会毎にアンケートの記述部分を父母連事務局配布のフロッピーにまとめていただいたり、父母連ホームページから引き出した書式にまとめたものを父母連メールにて送付していただいたりするなど、集計作業がより効率化でき、皆さんの意見をまとめることができました。担当していただきました皆さん、ご協力をありがとうございました。2010年6月に実施した父母連アンケートの結果、次のような傾向がみられました。

- (1) 0・1・2歳児の家庭では65%以上が、3・4・5歳児の家庭では45%～50%家庭が「保育料が高い」と感じている。
- (2) 保育内容や給食には80%以上が「満足」「まあ満足」、クラス人数に対する適正度は年齢によって差があり、特に3歳児クラスでは「適正」が60%強と他クラスと比較して低い数値となっている。また施設・設備については「満足」「まあ満足」を合計しても50%程度である。
- (3) 緊急待機児対策としての定員弾力化についての回答は「良い約24%」「仕方ない約43%」「やめてほしい約30%」である。現状に鑑み70%弱が理解を示しているが、安全面や今後の定

員弾力の常態化等を心配する意見が多数寄せられている（昨年度とほぼ同様の傾向）。

- (4) 約 73%が時間外・延長保育を利用している。また約 50%が公立保育園入園前に、家庭保育室や認可外保育園等の他施設を利用している。
- (5) 完全給食については全体の 85%が実施を望んでおり、さらに「主食代を負担しても実施希望」とする世帯が全体の約 70%となっている。
- (6) 実現を望む項目の第一位は例年同様「保育料の引き下げ」であるが、第二位が「完全給食」「病児保育」と横並びの結果となっている。

これらのアンケート結果や各父母会のご意見をもとに要望書などを作成し、2010年度は2/7に開催された「市長懇談会」での話し合いなどに反映させました。その結果、完全給食に関しては市長自身の発言から非常に前向きな発言が出され、その結果として2011年度から実施可能な園から各園父母会と実施に向けた話し合いが始まっています。2011年度は震災や原発事故による計画停電等が予想され、主食を持参しても保育園内の冷房が十分に行き届かずに持参した主食が傷んでしまうのではと心配する声も聞かれます。全園での早期の主食提供が私たち保護者の切なる願いです。今後も情報交換をしながら、よりよい完全給食を目指すべく運動を進めていきたいと思ひます。

<父母連ホームページの充実>

2006年度に立ち上げた父母連のホームページですが、2007年度以降は父母連の活動をより多くの方に知っていただくために「父母連の活動／草加市の保育園／これからの予定／おしらせ」などの内容の更新を行ってきました。専従体制のない中でなかなか更新がままならない時期もありましたことをお詫び申し上げます。一方でこれまで以上に父母連メール info@soka-fuboren.org を通して、皆さんのご意見・ご質問をキャッチし、父母連事務局としてできるだけ迅速に対応できるようになりました。2010年度も、ホームページや父母連メールが情報発信の役割だけではなく、回答用紙のダウンロードや回答のメール送信、問い合わせ等の相互に情報交換できる役割も果たせるよう工夫しています。今後もホームページやメールを通して、父母連活動が父母連会員一人ひとりにとって身近でわかりやすく、リアルタイムに声を反映できるよう工夫していきたいと思ひます。

3. 私たち自身が学べる組織活動をつくる取り組み

<「第19回草加子育てのつどい」（2/13）の開催>

2010年度も昨年同様、父母連・草加市職員労働組合保育部会・草加市家庭保育室連絡会・NPO法人さくらんぼ・NPO法人子ども広場草加おやこ劇場との共催で「第19回子育てのつどい」を高砂コミュニティセンターで行いました。市内の家庭保育室をはじめとする参加団体による、日頃の保育の様子を紹介するパネル展示が行われました。父母連は「新保育制度をテーマにしたパネル」や「市内の子育てサポート一覧」を作成・展示し、情報と学びを提供しました。

つどいの全体企画では、「東久留米市の元保育園長 小松崎春代先生による講演会」を行いました。子育てのヒントになるお話はもちろんのこと、実際に民営化されている中での公立保育園の閉園にまつわるエピソード等、現在の保育行政や保育を取り巻く諸問題についてもお話しいたき、私たち保護者もこれからの保育について、新システムになると具体的にどのような問題があるのかを具体的に考えることができました。一方子どもたちは、あずま保育園にて劇団風の子による「風の子バザール」（歌と舞踊で世界の文化を感じられるパフォーマンス）を楽しみ、非常に楽しいひと時となりました。なお感想アンケートのまとめや報告については、父母連ニュース2月号にてお届けしました。2010年度のつどいには、ご公務でお忙しい中、山川百合子県議会議員、蒲生徳明県議会議員、谷古宇勘司県議会議員、瀬戸健一郎草加市議会議員のご参加もいただき、ともに学びを共有できましたことを心よりうれしく思ひます。2011年度も、参加して良かったと思える企画を行ってきたいと思ひます。

<各園父母会主催「CAPワークショップ」への補助>

2010年度の「CAP（Child Assault Prevention 子どもへの暴力防止）ワークショップ」は各父母会企画で行い、父母連としては大人ワークショップの講師交通費と子どもワークショップ1回分の講師交通費を補助する形で応援してきました。2011年度も子どもを守る取り組みを支援することを目的に、各園への補助を行っていく予定です。

4. 共同の輪を広げる取り組み

<「第11回草加子育て団体交流会」（2/13）の実施～より幅広い交流へと～>

公立保育園保護者だけではなく、公立保育園職員、家庭保育室連絡会、NPO 法人こども広場草加おやこ劇場等の市内のさまざまな子育てサポート団体と交流をもち、互いの活動や課題を話し合い、皆で手をつないで草加の子育てを良くしていこう！という目的のもとに行っています。2010年度もより交流を深めることができました。交流を通し「職員確保の問題」「待機児問題と0歳児保育のあり方」「各団体の連携・連絡の大切さ」などの課題や、これからの取り組みの方向性などについて共通認識することができました。全ての子どもたちにとってのより良い育ちの環境づくりをめざして、今後も横のつながりを大切にしながら交流していきたいと思えます。

<「第5回育成保育保護者交流会」（7/31）の実施／

「学童発達保障プロジェクト保護者交流会」（9/5）に参加>

草加市内には今年度4月から公立の早期療育施設として子育て支援センターが開所されましたが、未だに障がいのあるお子さんの数が多く、十分に利用できない面も見受けられるのが現状です。また両親共働きの家庭においては市の育成保育制度を利用することとなりますが、各園に在籍している育成保育のおおさんは数名です。そのような状況で、保護者同士の交流や情報交換の場として父母連が提供してきている「育成保育保護者交流会」が今年も開かれました。育成保育保護者のみなさんの交流の輪が着実に広がっています。この場で出た意見は市への要望書などに反映させるとともに、「もっと就学に関する情報がほしい」との要望を受けて、学童保育の会主催の「学童発達保障プロジェクト保護者交流会」に今年度も父母連事務局が実行委員として参加させていただきました。

<民主教育をすすめる草加市民会議>

主に小中学校・高校の教育の課題に取り組むゆるやかな集まりで、父母連も団体で加入しています。少数数学級の実現や市内の小中学校の給食の民営化問題、定時制高校廃止問題等私たち保育園保護者が数年後に当事者として直面する学校教育をめぐることがらを、学校の先生、学童保育の指導員や保護者、女性団体と日常的に意見交換やとりくみを作っています。父母連からは保育情勢を発信し、この会にあつまる市民との共有や一緒のとりくみをすすめています。

<草加母親大会>

「生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」を合言葉にした半世紀以上の長い歴史のある、母性を核にして暴力と貧困のない世の中作りを取り組む運動体に、草加父母連も加入しています。9月の草加母親大会（勤労福祉会館）の乳幼児分科会には父母連が運営責任団体としてかわりました。

<給食だあ～いすきまつり>

草加の小学校における自校直営方式の給食はとてもの高いすばらしいものという高い評価を受けています。そのような給食をもっと市民に知ってもらうことを目的として毎年開催されています。草加父母連も運営団体として参加しました。保育園でも自園直営方式、地元の業者からの食材調達といったすばらしい実践が行われており、相互の給食を知る上でも今後も運営に参加していく予定です。